【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成23年3月10日(2011.3.10)

【公表番号】特表2010-516307(P2010-516307A)
【公表日】平成22年5月20日(2010.5.20)
【年通号数】公開・登録公報2010-020
【出願番号】特願2009-545818(P2009-545818)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｍ　25/00　　(2006.01)
Ａ６１Ｌ　29/00　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｍ　25/00　　４１０Ｂ
Ａ６１Ｌ　29/00　　Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成23年1月21日(2011.1.21)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
規定量の被覆溶液でカテーテルバルーンを被覆するための方法であって、
前記被覆方法は、分注器具を用いて測定可能な量の前記被覆溶液を、前記カテーテルバルーンの表面へ放出するために、容量測定器具を有する被覆器具を使用し、
前記分注器具は、糸、糸のメッシュ 、一片の織物、革ひも、スポンジ、注射器、針、またはカニューレである、
ことを特徴とする方法。
【請求項２】
請求項１に記載の方法であって、
前記被覆方法は、引張方法、または糸引張方法である、
ことを特徴とする方法。
【請求項３】
請求項１または２に記載の方法であって、
前記被覆溶液は、少なくとも１つの輸送仲介物質、クエン酸エステル、造影剤、ポリマー、多糖、ペプチド、ヌクレオチド、油、脂肪、ワックス、脂肪酸、脂肪酸エステル、ヒドロゲル、塩、溶媒、薬理学的に許容可能な賦形剤、または前述の物質の混合物とともに、薬理活性薬剤を含有する、
ことを特徴とする方法。
【請求項４】
請求項１～３のうちの１項に記載の方法であって、
以下の工程：
ａ）折り畳まれ、部分的に膨張または完全に膨張した状態のカテーテルバルーンを提供する工程と、
ｂ）分注器具を有する被覆器具を提供する工程と、
ｃ）前記分注器具において一滴の前記被覆溶液を形成する工程と、
ｄ）前記分注器具自体が前記カテーテルバルーンの表面に接触することなく、被覆される前記カテーテルバルーンの表面の上方で前記一滴を引っ張る工程と、

ｅ）前記一滴が該一滴のサイズを維持するように、前記被覆溶液を再投与する工程と、
を備えていることを特徴とする方法。
【請求項５】
請求項４に記載の方法であって、
前記カテーテルバルーンの襞のみが、該襞の開口部の上方で前記一滴を引っ張ることによって充填される、
ことを特徴とする方法。
【請求項６】
請求項４または５に記載の方法であって、
前記カテーテルバルーンの前記表面は、溶媒による被覆の前に結露される、
ことを特徴とする方法。
【請求項７】
請求項１～３のうちの１項に記載の方法であって、
以下の工程：
ａ）折り畳まれ、部分的に膨張または完全に膨張した状態のカテーテルバルーンを提供する工程と、
ｂ）糸、スポンジ、革ひも、または一片の織物の形態の分注器具を有する被覆器具を提供する工程と、
ｃ）被覆溶液を提供する工程と、
ｄ）前記分注器具を前記被覆溶液に浸漬する工程と、
ｅ）前記被覆溶液を、前記分注器具から、被覆される前記カテーテルバルーンの前記表面上へ移動させる工程と、
ｆ）前記分注器具から、被覆される前記カテーテルバルーンの前記表面上への前記被覆溶液の一貫した分注が生じるように、前記被覆溶液を再投与する工程と、
を備えていることを特徴とする方法。
【請求項８】
請求項７に記載の方法であって、
前記分注器具から、被覆される前記カテーテルバルーンの前記表面上への前記被覆溶液の前記移動は、被覆される前記カテーテルバルーンの前記表面の上方で前記分注器具を引っ張ることによって、工程ｅ）にしたがって達成される、
ことを特徴とする方法。
【請求項９】
請求項７または８に記載の方法であって、
前記カテーテルバルーンの襞のみが、該襞の開口部の上方で、または該襞を通して、前記分注器具を引っ張ることによって充填される、
ことを特徴とする方法。
【請求項１０】
請求項７～９のうちの１項に記載の方法であって、
前記カテーテルバルーンの前記表面は、溶媒による被覆の前に結露される、
ことを特徴とする方法。
【請求項１１】
請求項７～１０のうちの１項に記載の方法であって、
前記分注器具は、前記カテーテルバルーンを損傷しない材料から構成される、
ことを特徴とする方法。
【請求項１２】
請求項７～１１のうちの１項に記載の方法であって、
前記カテーテルバルーンの全ての襞は、同時に被覆または充填される、
ことを特徴とする方法。
【請求項１３】
請求項７～１２のうちの１項に記載の方法であって、

前記カテーテルバルーンの全表面は、複数の糸、革ひも、一片の織物、または糸のメッシュによって同時に被覆される、
ことを特徴とする方法。